ボランティア支援室主催［体験ボランティアプログラム］第５弾

和東のお茶を守ろう！茶畑ボランティア

活動期間：2018年6月2日(土)～6月3日(日)　(1泊2日)*

*［体験ボランティアプログラム］は体系的な課外プログラムのため、実際の活動のほかに、事前ガイダンス・振り返り等を別途実施します。

申込締切：5月27日(日)

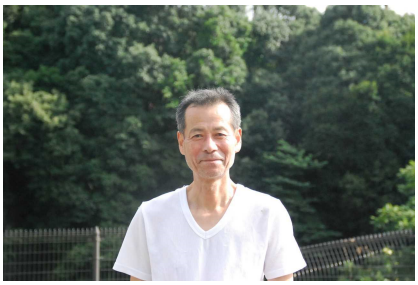
*和東町は2013年より「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

【和東町（わづかちょう）について】「日本で最も美しい村」*、和東町。京都府南部に位置し、周囲を山に囲まれ、清流が流れる麓の谷間には、昔ながらの集落が点在している。まるで日本の「原風景」のような景観を次世代に残すために、和東の茶畑は京都府景観資産地第一号に登録され、2015年4月には「日本遺産」にも認定された。和東町では、800年ものあいだ続く宇治茶の生産の伝統と歴史を地元の茶農家さんたちが受け継いで来た。現在、和東で生産される茶葉は京都府産の約半数を占め、その品質からも和東のお茶は全国有数の高級茶の一つに数えられている。その一方で、和東町は人口約4000人ほどの小さな町であり、茶畑の数に対する管理する農家が少ないという人手不足、また農家の高齢化などの課題を抱えている。その結果、管理が行き届かない茶畑や荒れた山が増え、和東のお茶畑が減少するといった危機に晒されている現状がある。

和東町の茶農家さんが所有する茶畑での活動、和東町の魅力を伝えるイベント補助等の活動を通して、１泊２日でボランティア体験をします。実際の活動と地域の方との交流を通じて和東町に暮らす人々の想いや和東町の魅力に触れ、学生である自分にできることを実践しませんか？　普段の大学生活ではできない経験が得られるはず！

《プログラム実施概要》
【活動期間】2018年6月2日(土)～6月3日(日)　(1泊2日)
【活動内容】ボランティア体験（茶農家と一緒に畑で農作業、
和東町の魅力を伝えるイベント補助スタッフ）
【集合】6月2日(土)9:00 加茂駅　【解散】6月3日(日)17:00予定（現地解散）
【活動受入】ほっこりサークル（和東町のお茶農家で構成されるグループ）
【宿泊】地元・和東町にお住まいの方の個人宅への民泊体験
※場所等の詳細は申込締切後に先方との調整の上、ご連絡します。
【参加費】5000円（宿泊費、1日目の昼食・夕食、2日目の朝食・昼食を含む）
※ 自宅から現地までの往復交通費は別途自己負担
【対象】同志社大学学生　【定員】10名【先着順】※定員に達し次第締切
【応募条件】事前ガイダンス（5/29）・振り返り会（6/6）への参加【原則必須】
【申込方法】ボランティア支援室（ji-volun@mail.doshisha.ac.jp）へメール申込
件名「体験ボランティア申込」　本文①氏名②学生ID③志望動機（200字程度）
※食事アレルギーや体調面等、プログラム参加において配慮が必要な方は、申込時にお知らせください。

地元お茶農家／活動受入先
中井 章洋 氏（茶舗圓通）



和東町生まれ、和東町育ち。
お茶は洗わずに飲むものだから、と「安心して飲めるお茶づくり」にこだわり、無農薬でお茶を生産している。美味しいお茶を多くの人に飲んで欲しいという思いから「にない茶屋」という肩書を持ち自ら人前でお茶を振る舞う活動も行っている。
また近年は国内外を問わずボランティアワークで和東町を訪れる若者の受け入れを実施。
和東町のお茶の魅力を多くの人に伝えるために積極的に活動を行っている。

問い合わせ先：ボランティア支援室　今出川校地（寒梅館１F）075-251-3236 ji-volun@mail.doshisha.ac.jp
京田辺校地（多目的ホール１F）0774-65-6777 jt-volun@mail.doshisha.ac.jp